



平成30年度

福山北特別支援学校「学びの変革」

思考力・判断力・表現力等の育成
コミュニケーション能力を活用する
児童生徒の育成



児童生徒の目標 2つの「あ」

あてはめて考える・あらわす

知識・技能の習得

学びに向かう力・人間性の涵養

「学びの変革」のポイント（マナヘンポイント）

- ① 「何のために」を意識しているか
- ② 学んだことを生活の中に生かそうとしているか
- ③ 次はこうしたいという思いが表れているか
- ④ 自分のことを知り、こうなりたい、こうしようと思えているか
- ⑤ 友だち同士で教え合い、学び合おうとしているか

分かって動ける授業づくり

実態把握

保護者との連携

平成29年度からの「学びの変革」を次のように考えました。基となるものは、児童生徒の実態把握と保護者との連携です。その上で本校が考えた「学びの変革」のポイントを生かし実践することで、

「知識・技能の習得」
「思考力・判断力・表現力等の育成」
「学びに向かう力・人間性の涵養」

が図られ、児童生徒の目標である

あてはめて考えたり、
あらわしたりすること（2つの「あ」）

が達成されると考えました。それを表したものがこの図です。

また、今年度の本校の研究テーマは
「コミュニケーション能力を活用する
児童生徒の育成」

です。分かって動ける授業づくりをベースに、研究テーマに沿った取組を行うことで、身に付けたコミュニケーションスキルを様々な場面で活用し、表現する児童生徒の育成をめざします。

合わせて授業実践として次の2つ行います。

コミュニケーション能力（表現力）における課題・整理シートを作成し、実態把握を進め、児童生徒の表現力の育成をめざす。

課題発見・解決学習として、展開のドミノと4つの問いかけパターンを組み合わせた授業実践を行う。